



陽気は幸せの種

図書出版 養徳社
〒632-0016
天理市川原城町388
TEL 0743 (62) 4503
FAX 0743 (63) 8077

陽気だより

養徳社 検索

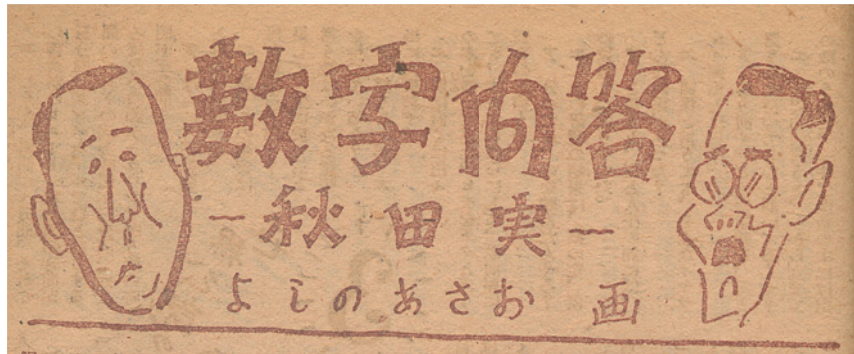
ホームページからご覧いただけます

No69

2012.12.15

第7号 (昭和24年12月号) から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で63年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。



数字問答

秋田 実

インタツ 君、数と言うものが、人生とどんな関係を持っているか、それを知ってますか？

ア 見合がどう数に関係が



ア そんな阿呆な、そのお

(後略)

ア じゃ、結婚はどうや？
工 勿論！ 結婚は一生の大事、その決まるのは慎重な見合の結果や。
ア 見合がどう数に関係が

ア へえ、研究と言うと、どんな？
工 早い話が、一から十まで、ひとつ、ふたつと数えて行くと、皆ツが附いてるのにと、うだけは附いてない。
ア 何で、うだけツが附かん？
工 その訳は、とうに附かん代わり、五にはいつつと、ツが余計に一つ附いてる。
ア 成程。こら、巧いこと言うた。
工 そこで研究を進めて行くと、驚いたことに、われわれの生活は何から何まで皆、数と言うものに深い関係がある。

ア ほんに、嫁入りか。
工 もつと例を言うたら、よく新聞に出てる良民いじめのボス、ボスが町政に巢食うている場合には、一体どうする？
ア ボスの暴力は、町民の世論を喚起し、多数決によって退治するのやないか。
工 それが民主主義的なやり方で、古い諺の柔よく剛を制すると言うのはつまり、この理屈を言うたもんや。
ア それが、どうして数に

ア 成程。こら、巧いこと言うた。
工 そこで研究を進めて行くと、驚いたことに、われわれの生活は何から何まで皆、数と言うものに深い関係がある。

ア ほんに、嫁入りか。
工 もつと例を言うたら、よく新聞に出てる良民いじめのボス、ボスが町政に巢食うている場合には、一体どうする？
ア ボスの暴力は、町民の世論を喚起し、多数決によって退治するのやないか。
工 それが民主主義的なやり方で、古い諺の柔よく剛を制すると言うのはつまり、この理屈を言うたもんや。
ア それが、どうして数に

ア 成程、十よく五を制するか。
工 こんな風に考えて見ると、われわれ人間は生まれた瞬間から一生、数と言うものの苦勞に付き纏まわられている。
ア 生れた瞬間から……？
工 その証拠にオギヤアと生れることを、九々の声を挙げると言うくらいや。
ア 嘘つけ。そら、呱呱この

ア 成程、十よく五を制するか。
工 こんな風に考えて見ると、われわれ人間は生まれた瞬間から一生、数と言うものの苦勞に付き纏まわられている。
ア 生れた瞬間から……？
工 その証拠にオギヤアと生れることを、九々の声を挙げると言うくらいや。
ア 嘘つけ。そら、呱呱この





さんげく

河内の森屋に東条為次郎という人がいた。信仰は明治十年前からの人で、熱心に信仰をつづけていた。明治十九年、夫婦の間に長男が生まれた。ところがこの長男が生れて間もなく、乳をのまなくなり、日に日にやせおとろえていった。そこで為次郎さんはおぢばへお参りして甘露台の前にひれ臥した。

この時、教祖様は奥のお居間においでになり、お側の人になり、「今な、河内から子供の病で甘露台にお願に来ている人がおりますから、ここに連れておいで」と申された。

それで為次郎さんは迎えられて教祖様の前に出た。すると教祖様は、「さあ、神は育たぬ子はさづけなさい、さんげくく」と仰せられた。

二つのかどめ

私共が始めて信仰して、教祖様の口から、「先方へ御救けに行ったら何と言いますか、私は知らんではいかん。神様が、さう言うてやれ」と仰言る。」といつて、そこでお聞かせ下されたことがあります。私自身が天理教信心した時。最初に聞かして貰いましたお咄し致します。と、これを台にしてお咄しするようにしたらよい。

そして身の内と八つの埃りを咄し、そしてさんげの道は、わが身のさんげの咄しをするようにしたら、一寸も当り障りはありません。三軒五軒いっても同じ咄し、同じさとして行けます。めえくの心定め事を咄しすればよい。さんげの道聞かすよりも、自分のさんげの道を咄したら、ああいやく私し所もいろいろ間違ひして来たことがあります。と、向こうからさんげして来る。それに、

あんな所にこんな理ないか、あんな理ないか

などと云いますから、つい向こうの内々同土夫婦喧嘩起さしたりする。この道はそんな道やない。

私はこうくして来た

と自分の事から言へ。又仰っしゃった。お救けに行きななさりや、腰弁で行け。

旬来たら茶だけ貰うて、いくようにしたら、先方へ大儀大層はかけん。この二つのかどめ肝心でございます。

梅谷四郎兵衛 講話 本部員講話集
〔信仰例話集 真実の道〕〔道友社刊〕より

養徳社 よもやま話

○自宅のファンヒーターの調子が悪いので電気屋さんへ見に行き、「三年保証」の売り文句につられ思い切つて買い換えました。梱包を解いたばかりの新しいファンヒーターは火力が強く、良く温まるような気がします。火事防止のためか、火が点いた状態で灯油を入れようと、給油タンクを抜くとピピと鳴って止まってしまった。

「新しくても灯油臭いのは変らない！」と、どうにもならないことで家族はブイブイ。これから家族全員が寝てから給油をしないとイケないのか？

○「今年は新しいことに挑戦しよう！」と目標を立ててから早くも一年。とあるスポーツに挑戦すべく、デスクワーク中心でたるみ切った身体にカッスを入れてきた。動けばすぐに息切れしていた頃より少しはマシになったか……。間もなく本番、結果はいかに。

絶賛発売中!!

中臺勤治 著

人間がたすかる原理

「天の理」を解きほぐす

定価=1,365円(税込)

認書出版 養徳社 0120-920-398

受定期購中読

お道の家庭雑誌

陽気

◎定期購読の誌代は1冊で半年分…1,600円(送料共) 1年分…3,200円(送料共)

ゆうちょ銀行の青い振込用紙をご利用下さい。
(口座番号 00990-3-17694 加入者 養徳社)
希望の号を指定の上、お客様の住所、氏名、電話番号をはっきりご記入お願いします。

〒632-0016 奈良県天理市川原城町 388 養徳社

